

2021（令和3）年8月3日

【2022年（令和4年）度入試】一般選抜前期日程試験における  
「英語スピーキング試験」の全学部導入について

東京外国語大学

本学では、2019年度入試より、国際日本学部一般選抜前期日程試験において「英語スピーキング試験」（BCT-S）を導入しておりますが、すでに本学ウェブサイトでも告知しておりますとおり（下記【参考リンク】参照）、2022年度入試より、これを全学部の一般選抜前期日程試験に拡大いたします。

すなわち、2022年度入試より、言語文化学部、国際社会学部及び国際日本学部の一般選抜前期日程試験において、従来のリーディング、ライティング、リスニングの能力を測る「英語」の筆記試験に加え、スピーキングの能力を測る「英語スピーキング試験」（BCT-S）を実施いたします。

詳細は、以下のとおりです。

1. 「英語スピーキング試験」は、英国の公的な国際文化交流機関であるブリティッシュ・カウンシルと東京外国語大学が共同で開発する、高等学校学習指導要領に準拠した英語スピーキング検定試験「BCT - S (British Council-TUFS Speaking test for Japanese Universities)」を利用して実施します。
2. 「英語スピーキング試験」は、一般選抜前期日程試験の当日に、試験実施会場において本学が用意するタブレット端末を用いて行います。
3. 試験時間は、正味12分程度ですが、解答開始前に試験の説明や端末の動作確認を行うため、試験の開始から終了まで60分程度を要します。
4. 配点は、「英語（リスニングを含む）」（300点満点）と「英語スピーキング試験」（50点満点）の合計点350点を300点満点に換算します。
5. 「BCT - S」のサンプルは、以下のサイトで閲覧することができます。  
→ 「BCT-S」のサンプルテストはこちら <https://www.britishcouncil.jp/exam/bct-s/about>

【参考リンク】

- ・英語スピーキングテストの導入延期について（言語文化学部・国際社会学部）（2020年6月12日）<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/exam/2020061201.pdf>
- ・2021年度入学者選抜における「英語科目」の扱いについて（2020年度実施、2021年4月入学）（平成30年7月30日）[http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/exam/navi\\_18073001.pdf](http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/exam/navi_18073001.pdf)